

令和4年度 島しょ型資源循環社会構築事業

1 目的

離島市町村を含めた県全域でリサイクルを推進するため、資源循環コストを低減した効率的なリサイクル体制を整備し、島しょ地域に適した資源循環社会の構築を目指す。

2 対象地域

沖縄県全市町村及び一部事務組合を対象とした。

3 対象廃棄物

- ①プラスチック
- ②バイオマス(食品、木等)
- ③プラスチックを除く容器包装

※原則、一般廃棄物を対象とした。

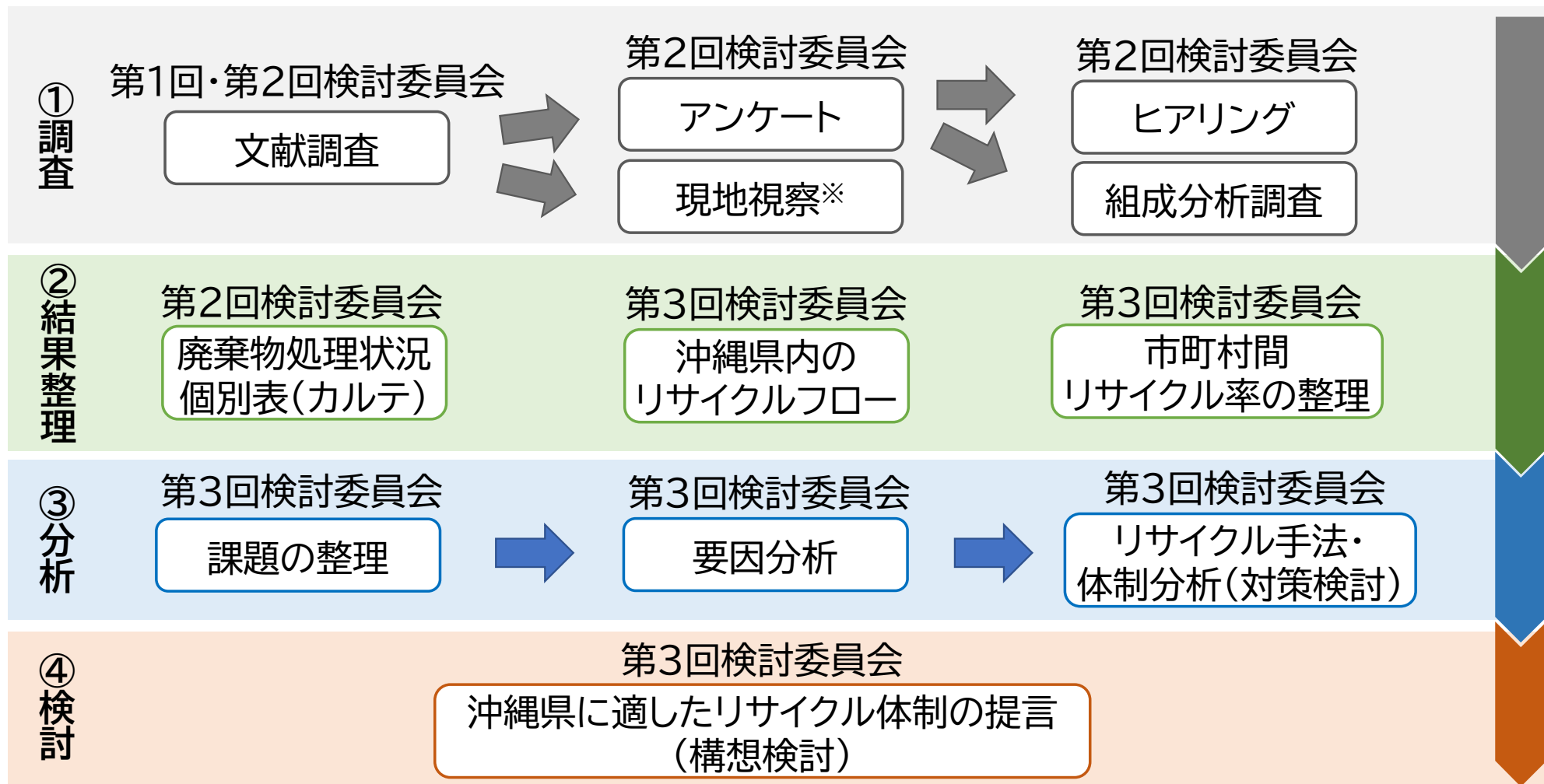
産業廃棄物を含めたほうが、リサイクルの効率化が図れると見込まれた場合は、検討の対象とする方針とした。

4 事業概要

- ✓沖縄県に適した効率的なリサイクルの手法・体制について、有識者、市町村、事業者等からなる「島しょ型資源循環社会構築検討委員会」において検討を行った。
- ✓検討を行うにあたり必要となる資料作成等のため、市町村等の現状を調査し、その結果の整理・分析を行った。これら調査で不足する情報等については、現地調査やヒアリング等を行った。
- ✓検討結果等を踏まえ本県に適したリサイクルの手法・体制について、「島しょ型資源循環社会構築検討委員会」から沖縄県に対する提言を行った。

令和4年度 島しょ型資源循環社会構築事業

5 調査・検討内容



※福岡県大木町の「おおき循環センターくるるん(バイオガス発電施設)」で現地視察を行った。

令和4年度 島しょ型資源循環社会構築事業

6 沖縄県に適したリサイクル体制の提言(プラスチック及び容器包装)

プラスチック及び容器包装の
リサイクルに係る
地域のあるべき姿の構想図

本島・離島の地域循環共生圏の形成

【基本方針】

対象廃棄物を資源として**県内で循環**させ、本島・離島における
リサイクルの**地場産業化**等を図る

「沖縄県独自の資源循環の確立」、
「持続可能な廃棄物処理体制の確保」、
「適正処理の徹底」の3つの
基本方針のもと、
地域循環共生圏形成による
持続可能な沖縄※に向けて推進する

※沖縄県廃棄物処理計画(第五期)



令和4年度 島しょ型資源循環社会構築事業

7 沖縄県に適したリサイクル体制の提言(バイオマス)

バイオマスのリサイクルに係る
地域のあるべき姿の構想図

本島・離島の地域循環共生圏の形成

目標とする沖縄県の資源循環体制

- 県内の資源循環ルート構築
- 適切な分別による資源の安定供給
産業廃棄物のあわせリサイクルによる資源の供給
→ リサイクル事業の安定経営
- 適切な分別・収集体制の構築
→ インセンティブによる住民への還元
(地域通貨・ポイント付与、生ごみ袋無料化等)
拠点回収の実施
- 自家処理の推進補助・技術指導

リサイクル産業の構築

- 堆肥化事業、エネルギー化事業
- リサイクル産業の育成
- リサイクル技術の選択・組み合わせによる
沖縄県に適合する技術導入

県内で資源を循環する

離島

離島が抱える 問題の解決

- 地理的な不利性
→ ごみ処理広域化
(離島によっては、広域化が
適さない場合あり)
- 島内のリサイクル事業者の不足
→ 産業廃棄物のあわせリサイクル

本島

複合的な 問題の解決

- 海岸漂着物の対応
- 観光業の対応
- 災害廃棄物の対応等
→ 廃棄物以外の施策との整合

- バイオマスの有効活用(カーボンニュートラル)
→ バイオマスエネルギーによる再生可能エネルギー回収
(災害時の緊急の電源を有する防災拠点として活用)

- 生ごみ焼却量削減による燃料消費量削減

脱炭素推進の 取り組み

【基本方針】

基本方針は、「プラスチック及び容器包装」と「バイオマス」で共通しており、県内での**バイオマスの循環**、リサイクルの**地場産業化**を図るとともに、**地域循環共生圏**の形成による持続可能な沖縄に向けて推進することとする。